

長崎バスグループ CSRレポート2018

長崎バス安全教育センターCSR推進課
〒850-0077
長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

長崎バスグループCSRサイト
<https://csr.nagasaki-bus.co.jp>

2019年3月発行



長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

人と人 街と街を 結ぶ

毎日の暮らしとともに
長崎バスグループ



長崎バスグループ
CSRレポート2018

NAGASAKI BUS GROUP CSR REPORT





日本一愛されるバス会社へ 目的の実現を主軸に据えた 新たな時代への備え

長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、
長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する。

経営理念

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 安全と安心 | 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。 |
| 感謝のこころ | お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。 |
| 仕事への誇り | 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。 |
| 地域とともに | 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。 |



社長あいさつ

平成30年は、中期経営計画セカンドステップの最終年であり、次のステップへ進む、戦略再構築の年でもありました。当社は平成25年より、中期経営計画に基づきさまざまな取り組みを行い、一定の成果を挙げてまいりましたが、外部環境の変化などにより、計画策定時の想定を上回るマイナス要因も顕在化しています。

とりわけ基盤である路線バス事業におきましては、少子化や基幹産業の規模縮小による沿線人口の減少が影響し、大変厳しい状況にあります。このような中、収支バランスの改善に向け、当社並びにさいかい交通(株)では運賃改定を実施いたしました。お客様にはご負担をお掛けいたしますが、更なる安全性とサービスの向上を図り、ご理解いただけるよう努めてまいりたいと存じます。

さて、交通事業者である当社にとりまして、地域交通の維持存続こそ最たる社会的責任(CSR)と存じます。

その観点から、現在、島原鉄道(株)の再生支援に取り組むとともに、新たな交通系電子マネーである、地域創生型ICカードの導入準備を進めております。

来るべき新たな時代の到来を前に、私たち長崎バスグループは地域の皆様のご期待にお応えすべく、企業価値の向上とCSR活動の推進に力を注いでまいります。今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 嶋崎真英

TSUTAYA BOOKSTORE BOOK & CAFE

10th

MIRAI NAGASAKI COCOWALK
ANNIVERSARY
COCO RENEWAL

みらい長崎ココウォーク 10周年リニューアル

オープン10周年を迎えたみらい長崎ココウォークでは、3月と7月の2回にわたり大規模なリニューアルを行いました。本リニューアルでは、「育む」「食す」「憩う」の分野を充実させココウォークの魅力向上を図りました。7月に全面改装した5階フロアは、1,000坪のリビングルームをテーマとし、ゾーニング、インテリア、照明など細部に至るまでこだわり抜いた空間といたしました。そして、同フロアの中核テナントとして出店した、㈱COCOアドバンスが運営する「TSUTAYAブックストア」と「ドトールコーヒーショップ」は、県内初の大型ブック&カフェスペースとして、オープン以来、多くのお客様にご来店いただいております。

長崎のみらいを創造する長崎バスグループは、これからも好奇心を絶やすことなく、長崎の街に活気を生みだし続けてまいります。

安全・安心

Safety and Security



運転席からの視野確認の様子

高齢者向けバス教室

長崎バス安全教育センターでは、シニア世代を対象とした「生き生きバス教室」を開催しています。

長崎市老人クラブ連合会の皆様にご参加いただき開催したこの教室は、座学や乗車体験を通じて、車内事故につながる危険な行動についてご説明し、安全な運行へのご協力をお願いしております。体験型で楽しみながら学んでいただけるこの教室は、参加者の方にも大変ご好評いただいております。

7月に実施した本年3回目となる教室では、あたご自動車学校様にもご協力いただき、視野の範囲や反応能力を診断する機械を活用した講習も行いました。

今後もこのような教室を通じて、お客様のご理解・ご協力をいただきながら、安全・安心な運行に努めてまいります。



乗車体験の様子

運転者接遇研修・ 営業所管理者研修の実施

平成23年から外部講師による長崎バスの運転者を対象とした接客力を高めるための「接遇研修」を実施しています。

平成25年度からの第二次研修では、教室での講義と併せて実技研修を多く取り入れました。お客様の立場に立つことで、お客様の気持ちも理解できました。

この研修を担当した講師に全運転者を指導した経験を踏まえて、営業所での運転者指導のポイント、コミュニケーションの在り方について、営業所の管理者を対象とした研修も実施しました。

今後も各職種が気づきを得、研修を通して、ステップアップを図り、社員一丸となって、日本一愛されるバス会社を目指してまいります。



営業所管理者研修の様子

みらい長崎ココウォークでの 避難訓練を実施

みらい長崎ココウォークでは、長崎バス建物総合管理(株)主導のもと、大規模地震発生の想定で、各テナントのスタッフ117名が参加し、避難訓練を実施しました。情報収集及び伝達体制を確認し、地震に伴う出火への対応、そして、避難誘導を実践形式で行いました。西日本豪雨や北海道地震など、甚大な被害をもたらす災害が頻発する中、いざという時、冷静に行動しお客様の安全確保にあたるべきテナントスタッフは、終始真剣に訓練に取り組みました。



避難訓練の様子

安全・安心ハンドブックの改定

安全運転、接客・対応の標準化を図り、長崎バスグループの“使命”“経営理念”と、日常業務をつなぐツールとして平成25年に制作したハンドブックは、数年毎に改定版を制作しております。平成30年の改定では、ハンドブックの本編の内容である「運輸規則38条1項及び2項に基づく運転者に対して行う指導及び監督の指針」が改定された事に伴い、ハンドブックも計70ページを改定しました。

バスの運行、お客様の安全を確保するためのマニュアルとして、今後も計画的・継続的に活用してまいります。



改定したハンドブック

島原鉄道スキルアップ研修会

島原鉄道(株)のバス運転者を対象に、バス運転者として接客の基本を学び、実技訓練を通じ、さらなる安全意識と運転技術の向上を図ることを目的に「スキルアップ研修会」を行いました。これまで身に付けた技術や知識の再確認を行うとともに、グループ共通の使命と経営理念についても理解を深めました。



研修の様子

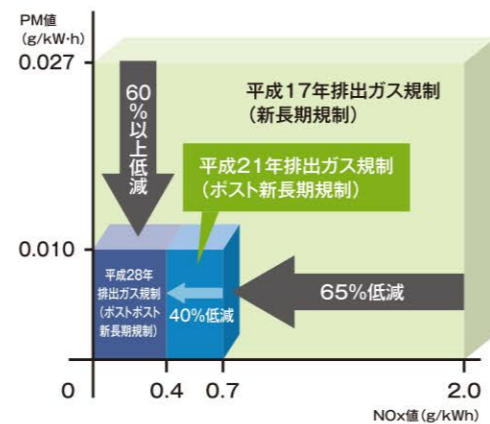
環境活動

Ecology

安全・環境に配慮した車両へ

平成30年、長崎バスでは空港線車両を4台導入しました。最先端のテクノロジーを満載し、世界でも最も厳しいレベルの「ポストポスト新長期排出ガス規制」に適合。PMの排出をおさえつつ、NOxは規制値からさらに40%低減しました。さらに、排出ガス性能と燃費性能を高いレベルで両立し、「平成27年度燃費基準+15%」を達成しています。また、エコドライブをサポートするエコランプやエコ表示メーターが搭載されており、更なる燃費向上に貢献します。長崎バスでは、最新の車両を導入することで、ハード面・ソフト面から環境負担低減に努めています。

排出ガス規制



長崎県版図柄入りナンバープレート

平成30年導入の空港線車両に加え、現在運行している路線バスも含めた全54台に「長崎」「佐世保」地域の共通図柄として、「長崎県版図柄入りナンバープレート」を装着しています。「平和祈念像」「大浦天主堂」「ハウステンボスの風車」の3つの名所をステンドグラス風に表示した図柄のついたナンバープレートを装着し、走る広告塔として長崎の魅力を発信しています。

エコ運転による環境対策

長崎バスでは、全車にデジタルタコグラフを装着し、運転者の安全運行と燃料節約に管理者、運転者一丸となって取り組んでいます。

年に2回実施しているエコ運動では、安全最優先を念頭に、燃費及びデジタコの好成績維持を目標として、運動・指導を行っています。

平成30年、エコ運動期間中には、管理者向けのデジタコ講習会を開催し、各営業所の所員及び整備員の約70名に講習を行いました。

これまでの取り組みの成果として、安全運転及びエコ運転のデジタコ総合評価も上がり、現在では、全運転者がA・B評価となるなど高得点を維持しています。今後も安全を最優先に燃費向上にも努め、環境保全に貢献してまいります。





明るい新時代を育むために
私たちが取り組むべきこと
長崎バスグループが挑む
次なるステップ

想像を上回る速度で変化する社会情勢。
柔軟かつ迅速に変化を受け止め
課題をクリアした先には
愛するふるさとの明るい未来が待っています。
長崎バスグループはこれからも
地域と共に歩みを進めます。

名もなき一日を走る。
長崎バス 

地域社会

Community



世界文化遺産のラッピングバス

平成30年3月23日、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産をデザインしたラッピングバスの出発式を、本企画にご賛同いただいた企業の代表者の皆様にご出席いただき、長崎バス安全教育センターで行いました。

このラッピングバスは、世界文化遺産候補となる12の構成資産を広く県民の皆様にも周知するとともに、正式登録の機運を高めるため、(株)イズワークスが企画。

長崎自動車(株)、さいかい交通(株)、五島自動車(株)の車両計76台にラッピングを施工しました。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、キリスト教が禁じられている中で、長崎と天草地方において日本の伝統的宗教や一般社会と共生しながら信仰を続けた潜伏キリシタンの信仰継承のあかしとなる遺産群です。

平成30年7月に念願の世界文化遺産に登録され、長崎県全体の活性化につながる貴重な観光資源となりました。交通事業・観光事業に携わる長崎バスグループにとっても、この正式登録を、地域の発展につなげるべく、二次交通の整備・充実等、可能な限り自らの責務として果たしてまいります。



ラッピングバスの出発式の様子

バスフェスタ

平成30年11月17日、みらい長崎ココウォークにて「みんなの笑顔が“COCO”にある バスフェスタ2018」を開催しました。

バスフェスタは、お客様並びに地域の皆様へ日頃の感謝の気持ちをお伝えすることを目的に平成21年より開催しているイベントで、今年で9回目の開催となりました。

島原鉄道(株)も加わり、全18社となった長崎バスグループ。グループの結束力を示すイベントでもあります。

今年も、オリジナル缶バッジ作りやミニカーを使用したゲーム、コンサートなど盛りだくさんの企画に、多くのお客様がご来場いただき大盛況のうちに幕を閉じることができました。



バスフェスタの様子



長崎ペーロン選手権大会2018の様子

長崎バスペーロンチーム

平成30年7月28日に「夏の風物詩」「長崎ペーロン選手権大会」が長崎港で開催され、長崎バスチームは6年ぶりの出場にもかかわらず、持ち前のチームワークで決勝進出を果たす好成績を収めました。

今回、長崎バスチームは、バスの安全運行を日々支えている整備士を中心に構成され、大会に向けて5月中旬から練習を開始しました。ペーロン初心者メンバーも多い中、はじめは漕ぎを合わせるのもやっとだったものの、連日の猛練習の成果もあって、徐々に舟が力強く波を切り進むようになり、大会前には全員で息のあった漕ぎを見せるまでになりました。炎天下のレースにもかかわらず、会場には多くの観客や関係者が詰めかけ、職場のプライドをかけて汗を流す選手たちに熱い声援が飛び交っていました。

そして最後は、熾烈な戦いを終えた選手たちに対して、各チームの垣根を越えた盛大な拍手が送られていました。

子ども向けバス教室

長崎バス安全教育センターでは、路線バスに親んでもらい、バスのご利用方法、乗車時のマナーや交通安全への理解を深めていただくため、子どもたちを対象とした「バスの乗り方教室」を開催しています。

絵本の読み聞かせやバスの乗車体験、エンジンやタイヤの説明等、バスについて楽しみながら学んでいただける教室です。

平成30年は、延べ13回646名の方にご参加いただきました。



バス教室の様子

地域社会

Community



ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団による中学生へのワークショップ



市民ミュージカル「赤い花の記憶 天主堂物語」

みらい長崎ココウォーク 地域との連携

みらい長崎ココウォークでは、地域の活性化や地域貢献の観点から、周辺公共施設との連携や大学・専門学校とのタイアップ企画など、さまざまなイベントを行っています。

周辺公共施設との連携では、長崎県美術館や長崎歴史文化博物館、長崎市科学館などの企画展半券提示で観覧車無料企画に、夏休み以降10,000名を越えるご利用がありました。

また、大学や専門学校と連携して、食育や水産学部の実験、健康フェスタなどさまざまなイベントを通して地域との関わり合いを深めています。

これからも、みらい長崎ココウォークは地域に根ざした企業として、地域活動支援イベントを積極的に行ってまいります。



活水女子大学看護学部によるイベントの様子

「観光」や「芸術・教育」 などを支援

長崎バス観光開発振興基金は、昭和61年に観光を通じて、社会、経済、教育、文化、科学技術の振興など、広く時代の要請にこたえる事業への助成を行い、豊かな郷土づくりと人づくりに寄与することを目的に設立しました。さらに、平成28年12月21日には、より公益性、透明性を高め、地域社会の利益増進を図る公益活動を実施する目的で公益財団法人へ移行しました。

平成30年度は、文化振興、地域ブランドの構築、人材育成を図るため、計20団体への助成を行いました。



しまてつ カフェトレインの様子

島原鉄道×島原農業高校 『幸せの黄色い列車王国』オリジナル商品を開発

「幸せの黄色い列車王国」とは、諫早市・雲仙市・島原市・南島原市の4市をひとつの「王国」に見立て、島原鉄道の黄色い列車で旅をしながら食や人とのつながりを楽しむ町おこしプロジェクトです。

島原鉄道(株)は、島原農業高校と連携協定を結び開発に着手。同校の家庭科学部プロジェクト研究班の生徒の皆様が中心となり開発したのは、プロジェクトのイメージカラーである“黄色”にこだわった食品14点。その内、4点を商品化しました。鮮やかな黄色に仕上げるため、地元で取れたカボチャを使用するなど、見た目にも味わっても幸せを感じていただ

けるものばかりとなりました。

島原鉄道では、「カフェトレイン」の運行も行いました。第一回目は、諫早駅の開業記念企画として実施。平成30年8月に行われた、このイベントでは、高校生とのコラボ商品のスイーツを生徒の皆さんがスタッフとして乗車し、お客様に提供。エプロン姿で心のコもったおもてなしをしてくださいました。

「しまてつ カフェトレイン」は、列車の旅を楽しみながら、島原へお越しいただくというコンセプトで企画しており、今後も内容をさらに充実させてお届けします。



完成発表会の様子

料理の様子

しまてつ カフェトレイン

島鉄110周年

島原鉄道(株)は、平成30年に創立110周年の節目を迎え、新たなチャレンジに取り組む活動の一環として、みらい長崎ココウォークとのコラボ企画「島原鉄道 in ココウォーク」を4月28日から30日までの3日間で開催しました。

島原鉄道と島原半島の魅力をPRするために企画し、親子で楽しめる様々なイベントを行い、期間中は約3,000名の方にご来場いただき大盛況となりました。

また、創立記念日にあたる5月5日には、島原駅を会場に「しまつ5.5(ゴーゴー)キッズ祭り」を開催。キッズトレインの運行や島原農業高校和太鼓部並びに島原商業高校吹奏楽部の皆さんの演奏、そして楽しいゲーム大会や物産販売などが行われ、会場にお集まりになった島鉄ファンの皆様と共に島鉄110回目の誕生日を祝いました。



しまつ5.5キッズ祭りの様子



夜行高速バス30年の歴史に幕

夜行高速バス「長崎～名古屋線(グラバー号)」及び「長崎～大阪・京都線(オランダ号)」の運行は平成30年11月30日運行便を最後に終了しました。

運行開始以来、30年以上に亘り多くのお客様にご利用いただき誠にありがとうございました。

11月30日、名古屋へ向けたラストランとなったこの日、満席27名のお客様を乗せたグラバー号は、関係者や別れを惜しむ方々に見守られ、長崎新地ターミナルを後にしました。



※長崎～大阪・京都線(オランダ号)は、当社のみ終了し、12月1日からは近鉄バス(株)の単独運行。

運行開始/「オランダ号」昭和62年12月22日 「グラバー号」平成元年9月21日

季刊誌『楽』地方創生部門優秀賞を受賞

(株)イズワークスが発行する季刊誌『楽』が、日本タウン誌フリーペーパー大賞の地方創生部門優秀賞に輝きました。

今回受賞した『楽』40号(平成30年6月発行)は、長崎市銅座を特集。長崎随一の歓楽街の歴史や迷宮的な町並み、そして、そこに暮らしてきた方々の話を写真と共に紹介しています。地方創生の推進につながる誌面作りが評価された今回の受賞を糧に、『楽』は長崎の魅力発進にますます注力してまいります。



後援:内閣府 / 経済産業省 / 農林水産省 / 観光庁 (公社)日本観光振興協会



タウン誌フリペ大賞 検索



2018年 vol.40
長崎／銅座 ラビリンス

株式会社長崎ICカード設立

長崎バスでは、これまで長年お客様にご利用いただいていた「長崎スマートカード」に代わり、2019年秋より、新たなICカードを発行することを発表し、現在、その準備を進めています。

平成30年7月には、新しいICカードの企画や運営を行う「株式会社長崎ICカード」を設立し、10月1日より、同社のウェブサイトが公開され、新カードの特徴やお客様からの質問に対するお答えをFAQとして掲載しています。

新しいICカードは、まちカードとして、長崎バスやタクシーの交通利用に加え、電子マネーとしてお買い物にも利用いただけ、また多くの人にご利用いただいている「Tポイント」がたまるサービスを付加しています。



グループ会社研修会

長崎バスグループは、多様な事業展開に対応可能な人材育成に力を注いでいます。今後もグループ一丸となって安全最優先に対する更なる意識の向上と安全風土の構築を図ってまいります。

平成30年5月23日、グループ各社より22名が参加し、女性社員研修会を実施しました。女性を取り巻く社会環境や男性との思考の違いなどについても理解を深め、未来に向けた行動計画も作成し、今後のキャリアアップへの意識向上を図りました。



女性社員研修会の様子

平成30年6月6日、アンガーマネジメント研修会を実施しました。怒りの感情をコントロールする「アンガーマネジメント」。人間誰もが持つこの感情のメカニズムや上手な付き合い方を学びました。また、職場内でのコミュニケーションや部下を叱る際のポイントについて、実践形式のグループワークも行いました。



アンガーマネジメント研修会の様子

平成30年10月、バス運転者の技能向上研修会を実施しました。この研修では、危険の回避に必要な安全運転の知識や技能を実践的に習得します。

これまで、長崎バスの運転者に対し行ってまいりましたが、今回高原鉄道のバス運転者も合同で研修を実施し、10日間で115名が受講しました。



バス運転者の技能向上研修会の様子

バックヤードツアー

長崎バスグループ連携会議主催の「長崎バス・バックヤードツアー」を行いました。昨年に続き2回目となるツアーには、グループ会社から、16家族45名が参加しました。

バスの整備工場の見学や洗車機体験など普段見ることの出来ない舞台裏を見学。また、長崎バスグループにちなんだ〇×クイズやバスの乗り方教室も行い、バスグループのことも楽しく学びました。



バックヤードツアーの様子

長崎バスグループボウリング大会

グループ各社間の交流と親睦を深めるため、「長崎バスグループボウリング大会」を行いました。昨年の初開催に続き2回目となる大会には、各社から86名が参加。

参加者は、笑顔を見せながら、そして時には真剣な表情で高得点を目指し、交流を深めました。



ボウリング大会の様子



長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

長崎バス観光株式会社

さいかい交通株式会社

長崎バス商事株式会社

長崎バス建物総合管理株式会社

長崎バス情報サービス株式会社

ホテル日航ハウステンボス

国民宿舎 青雲荘

長崎バスターミナルホテル

みらい長崎ココウォーク

株式会社COCOアドバンス

五島自動車株式会社

島原鉄道株式会社

株式会社イズワークス

株式会社長崎ICカード

